1　校　　章

沖縄で初めて稲が植えられたのは，南城市玉城字百名の受水走水（ウキンジュハインジュ）といわれ，本校はその地の高台に建てられた。実るほど垂れ下がる稲穂は謙虚な態度を意味し，周りを囲む桜花は，若さと情熱と純真な心を意味し，枯渇することのない若々しい無限の創造精神を象徴している。

全校生徒から募集し，仲西ゆき子さん（２期生）のデザインで1946年６月11日に制定された。現在の校章は，安次富長昭氏（４期生）により1995年10月にリ・デザインされたものである。

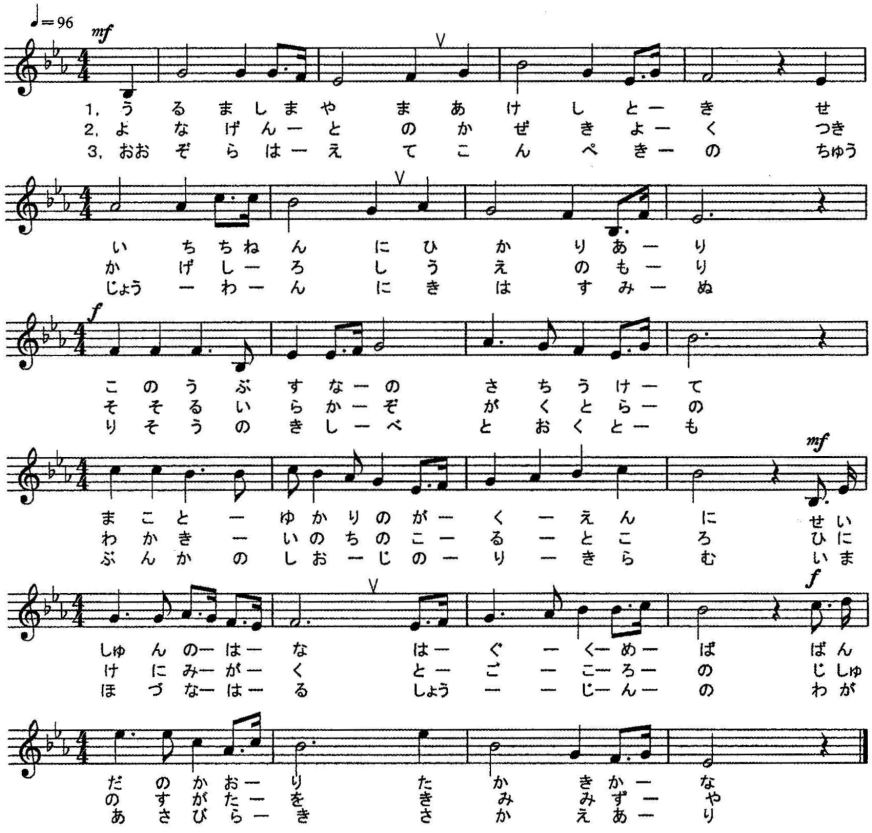
校　　訓

「和衷協同」

紀元前に書かれた中国の古典『書経』に由来し，「心を同じくして，共に協力し活動する。」という意味である。

校　　歌

山田有功 作詞
田場盛徳 作曲



一　うるま島山　あけしとき
聖地知念に　光りあり
この産土（うぶすな）の　幸うけて
まことゆかりの　学園に
青春の花　育（はぐ）くめば
万朶（ばんだ）の香り　高きかな

二　与那原頭の　風清く
月影白し　上の森
そそるいらかぞ　学徒らの
若きいのちの　凝（こ）るところ
日に異（け）にみがく　利心（とごころ）の
自主の象（すがた）を　君見ずや

三　大空映えて　紺ぺきの
中城湾に　気は澄みぬ
理想の岸辺　遠くとも
文化の潮路　乗りきらむ
いま帆綱張る　精進（しょうじん）の
わが朝発（あさびらき）　栄あり